



ひがしいずようちえん

- 職員室だよ！ -



ひがしいず幼稚園 R 6・2・6

あっという間に2月。駐車場の河津桜のつぼみも膨らみ、ちらほら花が咲き始め、寒さの中にも、“春”を見つけられるようになってきました。

3学期が始まった1か月間で、楽しいことがたくさんありました。

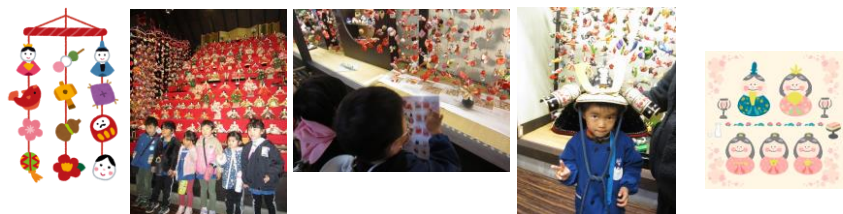
雛の吊るし飾り見学へ…

雛の吊るし飾り見学に行きました。

稲取の文化公園にある雛の館の中にはたくさんの吊るし飾りが飾られていました。

飾りの写真と名前が書かれたパンフレットを手に、「なんか違うなあ」「この色じゃないんだよね」と探偵気分で見学。じっくりと見ていると、「顔が可愛いね」「カメもあったよ」といろいろな発見があったようです。

帰りは、文化公園から役場まで、稲取の町を歩きました。三嶋神社の急な階段を下りたり、漁協の氷屋さんで大きなのこぎりを見つれたり、町の人に声をかけられたり…と貴重な経験となりました。また、お散歩に出かけたいと思います。



パンフレットを見ながら、吊るし飾り見学。兜をかぶって、ハイポーズ！

手はきれいに洗えているかな…

伊豆食品衛生協会の皆さんによる、手洗い指導が行われました。

指、手のひら、手の甲、指の間、爪、最後は手首…と手の洗い方を教えてもらいました。

まずは、すると、ばいきんまんがみんなの手にクリーム（蛍光塗料）を塗り、特別の光にあててみると…あら大変！手が白くなっていました。「よし！ばいきん（クリーム）を綺麗に洗い流そう!!」と、教えてもらった洗い方で、クリームを落とすように手洗いをしました。「もう落ちたかな…」と、再び恐る恐る手を光に手を当ててみると「白くない!」「落ちてる」と大喜びの子どもたちでした。



「おじさんたちもご飯を作る前には2回も手を洗うんだよ」と聞きびっくりしていた子どもたち。

「お家の人にも教えてあげてね」ということでしたが、子どもから手の洗い方の伝授はありましたか？

手洗い後、せっかく綺麗になったのに「拭くのがない…」とハンカチを持っていない子がいました。園服や服のポケットにいつでもハンカチが入っていると便利です。



白く汚れた手も、きれいに洗ってOK!



文化公園の桜の木の下で、ちょっと一休み

「ゴミ拾いしてきました」

ゴミを拾いながら登園。綺麗になるって気持ちいいね！毎日、ありがとう



「お楽しみ会」「ありがとうごさいました」…しっかりお楽しみました。

今年度最後のリサイクル交換をしました。「牛乳パックをトイレトーパーに変えてください」「ありがとうございました」と挨拶もしっかりと出来るようになりました。

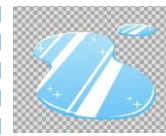
その後は、図書館の読み聞かせタイム。大きな絵本や紙芝居、パネルシアターで楽しい時間を過ごしました。自分のカードを見せ「この本を貸してください」も言えるようになってきた子どもたちを見ると、ちょっとしたことから成長を感じます。あと、2ヶ月で進級・進学です。入園や進級当初の姿からどんなことができるようになったかな…振り返ってみてはいかがでしょう。



「交換してください」「ありがとうございました」今回はトイレトーパー 50個と交換できました。牛乳パックのご協力ありがとうございました。

新しいお友達?? 「ChiCaRo」と遊んだよ

「子育ての“みかた”をふやす」をコンセプトとした、乳幼児向けロボット『ChiCaRo』の試行を、幼稚園で行いました（町のDX推進事業の一環）。ピンクの小さなChiCaRoは子どもたちに大人気！すぐに仲良しになり、遊びを見せたり、プレゼントをあげたり、会話をしたり…ChiCaRoと楽しみました。



冬ならではの経験から…

とても寒い日が続く、幼稚園でも冬ならではの現象が見られました。



霜柱ではだけ真っ白！大根の葉っぱも…

ある日、「明日はとっても寒くなるらしいよ」「一緒に氷を作ろう!」と先生が子どもたちに投げかけ氷作りが始まりました。水を張ったタライの置き場所は子どもたちが考え畑に決定!「だってこの前も霜柱ができてた!」と、タライやカップなどをせせと畑に運ぶ姿が見られました。



タライに張った氷…どうやって取り出すか考えを出し合い…

そして翌日は、天気予報のとおりとても寒く、駐車場も霜柱でバリバリ

登園してすぐ畑に向かう子どもたち。すると「先生、あったよ…氷!」と大きな声が園庭に響き渡りました。その声を聞き友達や先生たちが畑に向かうと、丸いタライの中に氷ができていて、太陽の光に照らされピカピカ光ってとても綺麗でした。



グルグル回したり、手で運んだり…

さあ次は、この氷をタライから取り出すにはどうするか…子どもたちは、いろいろな方法を考えていました。

- ①タライを揺らしたり、回したりして、氷を浮かび上がらせよう!
- ②タライと氷の隙間にフォークを差し込み、引き上げよう!
- ③「水を入れたら、氷が浮かんでくるんじゃない?」

考えたことを次々と試してみましたが、①は氷が思うように浮かばず失敗、②は隙間にフォークが入らず失敗。最終手段の③!手でコップをつくりせせと運んだり、バケツに水を入れたり、タライの中に氷がいっぱいになっていくと…「やったあ!」「氷、取れたよ!」と氷を取ることができました。

その日の帰り、「四角の氷を作ろう」「色が着いた氷」「スケートしてみたいから、大きいものに水を入れておこう」と園庭や畑のいろいろな場所に水の張った入れ物が置かれていました。



「霜柱ではだけ真っ白!大根の葉っぱも…」

翌日の朝もしびれるくらいの寒さ。でも、子どもたちはワクワクした熱い気持ちで登園してきました。

すると、部屋にリュックも置かず、水を張った入れ物を置いてある場所に直行し、「氷できてるよ!」「すごい!」「見てみて」と大興奮の子どもたちの声が聞こえてきました。小さなプールには氷が張り小さなスケートリンクができあがり。「ドーナツみたいな氷を作ろう」とタライに小さなボールを入れておくと…これも大成功!水色、ピンク、緑など色が着いた氷や花の氷もできていました。

子どもたちは、遊びの中で、試行錯誤を繰り返したくさんのことを学んでいます。失敗を経験することで、どうしたら失敗しないか自分で考え、工夫する。これが、試行錯誤の過程で重要なことです。失敗した分、学びが増え、成功した時の喜びも大きくなりますね。



不思議なもの発見! 園庭や虫眼鏡で調べます。

今年の冬は暖冬といわれていますが、今回の寒さで冬ならではの貴重な体験がたくさんできました。これからも、いろいろな体験や経験ができる機会を見逃さず、大切にしていきたいと思ひます。

